

平成28年度 福岡県認知症医療センター 直方中村病院 活動報告
鞍手町多職種連携協議会 研修会

【開催日時】平成29年1月21日(土) 14:00~15:45

【開催場所】鞍手町総合福祉センター くらじの郷 研修室 A・B (鞍手郡鞍手町大字新延 414-1)

【内 容】①講義「認知症との関わり方」

講師：福岡県認知症医療センター直方中村病院 精神保健福祉士 葉室

②説明「鞍手町医療・介護フェイスシート」

説明者：鞍手町地域包括支援センター 社会福祉士 岩佐 氏

③情報提供「直方歯科医師会 在宅連携室紹介」

情報提供者：直方歯科医師会 歯科衛生士 古野 氏

④説明「地域密着型事業所としての困りごと相談窓口」

説明者：鞍手町地域包括支援センター 管理者 一ノ瀬 氏

【主 催】鞍手町多職種連携協議会

鞍手町には、病院・在宅介護支援センター・特別養護老人ホーム・直方歯科医師会・地域包括支援センターを中心とした鞍手町多職種連携協議が発足しております。参加事業所は、前述の事業所以外に、訪問看護ステーション・介護保険の通所サービス事業所・訪問介護事業所・グループホーム・住宅型有料老人ホーム・居宅介護支援事業所となっております。今回の研修の参加者は42名でした。

今回、鞍手町地域包括支援センターから講師派遣依頼がございました。テーマは「認知症との関わり方について～福岡県認知症医療センター直方中村病院及び認知症初期集中支援チームについて～」です。レジメとしては、次の通りです。

- エリアの状況（新オレンジプランをベース）
- もし、認知症・認知症の疑いがある住民がおられたら・・・
- 認知症初期集中支援チームの事例紹介
- 認知症のBPSDの出現原因
- 中核症状-記憶障害のケア・見当識障害のケア-
- さいごに

認知症施策である新オレンジプランを理解しておく地域を分析する上で大変役に立ちます。

新オレンジプランを基に、エリアの状況を報告しました。現状を一人一人知ること、今後の活動につなげて欲しいと思っております。その上で、社会資源の一つである認知症医療センター・認知症医療初期集中支援チームを紹介しました。初期集中支援チームは、その活動自体に馴染みが無いと考え、事例も紹介しました。

アンケート結果は「理解をできた」という回答をいただき、講師としてはホッとしています。また、今後の研修内容は、他機関の取り組みを知りたい・事例検討と言った項目があげられておりました。他機関の相互理解が、いわゆる「連携」とつながるのでしょうか。

最後に、開催にあたり調整にご尽力いただいた関係機関の方、参加者の皆さまにはご多忙の中、ご参加いただき、感謝申し上げます。ありがとうございます。

(葉室)